

わたくし
私 は赤ちゃんで生まれます。
ざっしょく このみ
雑 食で、木の実や魚などを
とって食べます。

JKma018

日本にいる仲間^{なかま}は、
北海道に住む茶色のものと
その他の地域^{ほかにちいき}に住む黒色の
ものの2種類^{しゅるい}です。

KKma025

がっしりした体格^{たいかく}で、足の裏^{うら}を
地面^{じめん}にべったりとつけ、尾^おは短^{みじか}
く、後ろ足で立つのが上手です。

EKma037

冬ごもりをして、その間に
子どもを産^うみます。

IKma049

きのぼ
木登りが上手で、木の上に枝^{えだ}で
たな
棚を作ったりもする。

Lkma056

体の色は、黒くて首のところに
白い輪^わがあるものや、茶色の
もの、白いものなどいろいろな
仲間^{なかま}がいます。

GKma063

南^すに住む仲間^{なかま}は、ハチミツや果物^{くだもの}を
この
好んで食べ、北^すの方に住む仲間^{なかま}ほど
肉食^{せい}性になる。
魚やアザラシを食べる仲間^{なかま}もいる。

PKma074

わたくし なかま
私 の仲間^{なかま}は、
北の方にいくほど体が大きくなり、
アラスカにいるものは体長280cm、
たいじゅう
体重は780kgにもなる。

OKma081

いつもは山や森の中で暮^くらしてい
るが、ちかごろは里に近い畑^{はたけ}を荒
らしたり、人に危害^{きがい}を加えてしま
うものもあります。

YKma093

大きな体のわりには口が小さく、
つめ
爪はがんじょうで長い。

TKma103

別の名前はフクログマとも
コモリグマともいう。

OKa013

ユーカリの葉が主食です。

YKa027

主に夜行性で巣は作らない。
夕暮れ・夜間・夜明けが活動時間で、
18～20時間は、休んだり眠って
います。

PKa035

10kg前後のお母さんは、
一回に一匹だけ子供を産み、
その子供はおよそ2cmで
体重は1g以下です。

WKa042

生まれた子供は、お母さんの
お腹の袋の中で育ちます。

LKa052

子供は大きくなるとおかあさんの
背中にしがみついて暮らしています。

UKa061

前足の5本指は木の枝をつかみや
すいように、2本と3本にわかれ
てむかいあっている。

NKa073

この動物の名前は、アボリジニ
の言葉で「水を飲まない」とい
う意味です。

RKa081

大きな鼻は、よくきいて、ユーカ
リの木の種類を見分けるの役立っ
ています。

SKa094

暑い日には、涼しくなるように
木の上から手足をだらりとして
座り、寒い日には、体温を保持する
ためにボール状になっています。

TKa107

陸^{りく}の上でいちばん大きな動物^{どうぶつ}です。

YZ013

太くて長い牙^{きは}をもっている。

RZ027

大きなうちわのような
耳をもっている。

PZ035

数頭の母親とその子供^{こども}が10数頭
の群れ^むをつくって暮^くらしています。

LZ041

鼻^{はな}がとても長い。

この鼻^{はな}は上くちびると鼻^{はな}がいっしょに
の伸びたもので、その先^{かんかく}はとても感覚が
すぐれ、小さなものもつまみあげる。

HZ052

草^{この}や木^はの葉^{はな}を鼻^{はな}を上手に
つかって食べます。

BZ063

アフリカにいる仲間^{なかま}と南アジアに
いる仲間^{しゅるい}の2種類います。

EZ073

とても器用^{きよう}な鼻^{はな}をもっている。

VZ088

オスは大人になると群れ^むをはなれ、
森や木のまばらに生えた草原を
たびたび旅して歩く。

JZ092

水あびやドロあび^すが好きです。
ドロを体にふきつけて虫さされ
を防^{ふせ}ぐので、体はその土地の土
の色をしている。

XZ107

地上でいちばんのっぽで5 mもある。

体にアミメの模様がある
種類が有名です。

YKr011

IKr027

長い首をふりながらバランスを
とりながら早く走ることができる。

頭の上に角のようなコブが2つある。
オスには額にもうひとつある。

GKr039

KKr042

アフリカの草原に住み、
木の葉や小枝を食べている。
高い木の葉も食べることができる。
とげのあるアカシアの葉が好物です。

とても長い首をもっている。

QKr053

HKr062

大きく見るとウシの仲間で、反芻（いちど食べたものを胃からもどしてかむ）する。鳴き声（たまにしか鳴きません）も、「モー」と鳴く。

とても足が長く、背中まで
2,5 mもある。

CKr073

LKr089

私たちは長い首と首をぶつけて
あいさつします。

オスどうしは角でケンカし、
敵から身を守るときは
長い足でける。

BKr097

EKr108

タマゴから生まれる2本足の
動物です。

木にできたほら^{あな}穴などに住ん
でいます。

LF014

大きな木のほら^{あな}穴でタマゴを生ん
で育てるので、大きな木がない森
には住めません。

MF022

夜に空からネズミなどを
おそって食べます。
バッタや小鳥も食べます。

LF033

ひくい声で「ホーホー」とか
「ゴロスケホーホー」となきます。

QF045

昼は木の穴^{あな}や木陰^{こかげ}で、まぶたを
半開き^{はんびら}にして休んでいて、夜空
を飛びまわります。

GF056

前にむいて大きな2つの目が横に^{よこ}
並んでいて、両目^{りょうめ}で見る範囲^{はんい}が広い。
大きな頭で目のまわりがハートの形
に見える。

HF067

柔らかな毛^{やわ}に覆^{おお}われた大きな羽の
おかげで音をたてずに静か^{しず}に空を
飛ぶことができる。

PF071

2本の足に獲物^{えもの}をしっかりとつかむ
大きくてするどい爪^{つめ}をもっている。

OF083

消化^{しょうか}できない毛^{ほね}や骨などを
口からはきだしてすてる。
その毛^{ほね}や骨のかたまりをリペット
といい、森の中に落ちている。

VF094

ふつうの鳥より一度^{いちど}に見える
範囲^{はんい}は狭^{せま}いが、270度も回^ど
る首で周り^{まわ}を見ることができる。

RF107

わたくし
私 は 8 本足です。

IKmo015

あみ なかま あみ
網をはる仲間と網をはらない
なかま
仲間がいて だいたい半分に
わかれる。

XKmo023

とびまわ
空を飛び回することはしません。
はたけ がいちゅう
森や家田や畑の害虫を食べるので、
えきちゅう
人間にとって大切な益虫である。

CKmo032

なかま
どの仲間も体から糸をだし、
その糸を使って歩き、のぼ
登り、
お
降り、ジャンプする。

MKmo047

どく
毒をもっている仲間もいるが、
が い なかま
日本には人に害をあたえる仲間は
いない。

LKmo056

こどもは、
糸を風にのせて空をとぶ。

UKmo062

へや
水のなかに空気の部屋をつくって
く
暮らしている仲間もいる。

KKmo074

あみ なかま
網をはる仲間は目があまりよくない。

ZKmo082

つた しんどう えもの
糸を伝える振動で獲物を見つける。

DKmo099

あみ
オスがメスの網をたずねる時は、
オスは糸電話のように糸に信号を
おく
送り、メスが へんじ かえ
返事を返す。

SKmo100

わたくし
私 は赤ちゃんで生まれるけれど、
上手に空を飛び回ります。

IKu018

休むときは、さかさまに
ブラさがっています。

SKu026

空をとんでいる虫をつかまえて
食べます。とくにガが好きです。
くだもの 果物を食べる仲間もいます。

UKu034

目はよく見えないけれど、とて
もよく聞こえる耳をもっています。
(目のよく見える仲間もいます)

YKu041

口や鼻から人間の耳には聞こえ
ない高い音(超音波)をだし
て、それを獲物にぶつけて反射
してかえってきた音をたよりに
獲物をさがします。

TKu059

昼間は洞窟やほら穴、家の
すきまなどにおいて、夜空を
飛んで活動します。

VKu067

わたくし
私 は赤ちゃんのとき、おかあさ
んの大きな羽に抱かれてオッパ
イをもらいます。

XKu075

わたくし
私の仲間には動物の血を吸う
ものもいますが、日本には血を
吸う仲間はいません。

AKu083

イルカの仲間も私とおなじ
方法で獲物やまわりの様子を
さぐっています。

RKu091

わたくし
私は上手に空をとべるけれど、
子供をおっぱいで育てます。

GKu106

ウサギやネズミを好んで食べます。
秋にはキイチゴなどの植物も食べる雑食です

WKt013

雪の上などに残った足跡は、
左右の幅が少なくほぼ一直線に並んでいる。

LKt026

夜になると森の中で「フーン、
フーン」とか「ギャーン」と
いう鳴いています。

GKt036

太くてふさふさした尾を
なびかせて、走ります。

TKt046

日本では、北海道に住む仲間と
その他のところに住む仲間の
2種類います。
どちらも同じくらいの大きさです。

YKt055

土手などにつくった巣穴の中で
赤ちゃんを産んで育てます。

OKt068

一夫一婦制でとても子どもを
大切に育てますが、秋には
「子別れ」をします。

LKt074

とても用心深く、イヌの仲間です

PKt083

長野県では捕獲が禁止されてい
るので数が増え、そのために
ノウサギの数が減っている。

JKt095

太い尾の先が白い。

RKt103

せなか
背中に黒いスジが1本通っています。

AY015

大きさはネズミくらいで、
かっこう 格好はリスにも似ています。

LY023

とうみん
冬眠するときは、後ろ足と尾で
丸まってボールのようになって
ねむ
眠ります。

GY039

ざっしょく からまつ おばな
雑食で、落葉松の雄花や
みつ かわ
ツツジの密や木の皮やガヤ
アブラムシを食べます。

UY046

とうみん
冬眠するときは、たいおん
体温は5℃
らいまで下げて、半年もの間
ねむ
寝ている。

DY057

ほにゅうるい とうみん
哺乳類ですが、冬眠します。
かんじ とうみんねずみ
漢字では冬眠鼠と書きます。

EY069

とうけつ とうみん
木の洞穴で冬眠するが、
すばこ
時には人の家や巣箱の中でも
とうみん
冬眠することがあります。

WY073

ロシアでは「ソーニヤ(よくねむるもの)」、イギリスでは「ドゥーマウス(ねぼすけネズミ)」と呼ばれています。

SY081

こうび
オスは交尾の時メスに逃げられないように、赤ちゃんの声を
がいてき つた
まねて外敵でないことを伝え
ながらメスに近づきます。

LY097

数千万年前から日本にいる、
さいこ ほにゅうるい
日本最古のほ乳類の一つです。

MY105

前足と後ろ足の間の飛膜を
広げて、グライダーのように
空を滑空します。

MM017

主に草食で、春は新芽や若葉を食べ、
夏から秋にかけては松の実や
どんぐりやいろいろな植物の実を
食べています。

LM026

手足を広げると、新聞紙1面くらいの
大きさになります。

DM031

木を登っては次の木に跳び移り、
また木を登っては次の木に
飛び移り、森の中を移動します。

VM042

木の穴の中で赤ちゃんを産みます。
適当な木の穴が無いときは、
木の皮でラグビーボールの
ような巣を作ります。

FM057

飛び出す高さの2倍ほどの距離を
飛ぶ事ができますが、地上を走る
のは苦手です。だから、木が離れ
すぎると、くらしめてゆけません。

BM068

空を飛ぶときに、強く木の幹の
同じ場所を蹴るので木の幹に
蹴った跡が残っています。

JM078

長野県の戸隠では、
「ばんどり（ばん＝夜、の鳥）」と
呼ばれるくらい、完全な夜行性です。

HM083

ギャー、グルルルと暗闇の中で、
不気味な声で鳴きます。

RM093

主に草食で、冬には冬芽や
杉の雄花を食べています。
昆虫も食べます。

CM103

赤ちゃんで生まれます。
イタチに似ていますが、
イタチよりずっと大きいです。

GT013

ノネズミやノウサギ、鳥を食べ
ますが秋にはナナカマドや
マタタビなどの実も食べます。

QT024

縄張りを主張するために石の上
など目立つところに糞をします。

YT035

4本足で、細長い体に尾が
あります。顔だけが白っぽい
色をしています。

UT048

体の毛の色は褐色で、冬になると
黄色くなる仲間がいます。

PT055

主に地上で生活するが、
胴長で柔らかい体は
木登りにも向いている。

YT062

仲間のイタチは魚も食べるので
川に沿った森に住むが、わたしは
森林に住み、木登りが上手です。

RT073

主に夜行性で冬にも冬眠はしない
ので、森の雪の上にウメの花のよう
な形の足跡を見ることができる。
歩幅はイタチよりも大きい。

GT087

ネズミを退治する“益獣”でも
あり、うまく環境に適応してい
るが、臆病な性格の為に姿を
見ることは少ない。

HT091

良く聞こえる耳を持ち、冬には雪の
下で動くネズミの音を聞いて雪の
上から捕まえて食べます。

ZT104

森の中に「ホーホケキョ」という
オスの澄んだ声ひびが響きます。

JU018

たまご卵から生まれ、2本足で、
スズメくらいの大きさです。

KU024

わたくし私の体はみどり緑がかったちゃかっしょく茶褐色で
すが、わたくし私をねら狙うイタチやツミ
から身を守るための保み護色まもです。

BU035

人やイタチなどがなわば縄張りしんにゆうに侵入
すると、けいかい警戒して「ケキョケ
キョケキョ・・・」と鳴く。

LU043

す巣はか枯れたささ笹のくき茎やイネ科
しょくぶつ植物の葉はを使ってボールの
ような形に作ります。

HU059

ホトトギスが時々わたくし私のす巣の中に
そっくりのたまご卵うを産むので、
わたくし私は知らずにホトトギスのたまご卵を
そだ育てることがあります。

EU063

おす雄が見張り役で、なわば縄張りしんにゆうに侵入
しゃ者があるとす巣を守るめす雌にどくとく独特な
鳴声でけいかい警戒を知らせる。

MU077

チョコレート色のたまご卵うを産みます。

PU081

竹林ややぶ藪のなかなかにいて、「チャッ
チャッ」と地鳴きをしながら、
えだ枝からえだ枝へわたります。

WU093

うめ梅にとまったメジロを見て、わたくし私と
かんちが勘違いされることが多いのですが、
わたくし私はやぶ藪なかなかにいてちゃかっしょく茶褐色です。

GU103

ノミのように^{するど}鋭く^{とが}尖った
くちばしを持って^もています。

YKtt018

とても長い舌で、木の穴や皮の間にい
る虫を^{つか}捕まえてたべます。

OKtt023

春になると木に^{あな}穴をあけて^す巣を
作って^{たまご}卵を^う産みます。

PKtt036

毎年新しい^す巣を作るので、古く
なった^{わたくし}私^すの^た巣を他の小鳥や
ヤマネやムササビが使って
います。

LKtt047

森の木にとっては、^{みき}幹の^{ないぶ}内部を
^く食^い荒^あらす^{こんちゅう}昆虫^とを取りだして
くれるお^{いしや}医者^{さん}です。

MKtt058

^{わたくし}私^が、木をたたく「タララララ・
・」という音から、日本では古くか
ら「ケラ」とよばれてきました。

KYtt061

^{わたくし}私^はいろいろな^{どうぶつ}動物^すの巣を
作る森の大工^{さん}です。

HKtt079

前後に^{ゆび}指が2本ずつ^{じょうぶ}分かれた丈夫
な足とか^{おは}たい尾羽^で、木の^{みき}幹に
^{すいちよく}垂^直にとまることができます。

WKtt082

^{えさ}餌をとる^{どうさ}動作^たのために、他の鳥に
^{くら}比べ、体^{ぜんたい}全体^{の中}で、頭^が大きく
^{おも}重^くなっています。

QKtt096

名前の^{ゆらい}由来^は、「木をつつく」
^{しゅうせい}習^性によります。

LKtt108

たまご
卵で生まれ、こども
子供のは
水の中で生活し、大人になると
空をとびます。

PTo019

とても早く飛んだり、空中で
止まったりも出来ます。

UTo021

大きな二つの目があるが、実は
その目は小さな目がたくさん
あつ
集まったものです。

YTo038

空を飛び、虫などを食べる
肉食です。
足は6本あります。

Lto047

わたくし
私の羽はとうめい
透明で、あみめじょう
網目状の
すじが入っています。

ETo058

たまご
卵を産むときは、
空を飛びながら、
水の中にうみつ
産み付けます。

UT0063

体の色は、黄色と黒のしまもよう
縞模様の
ものや赤色のものや水色のもの
などいろんななかま
仲間がいます。

GTo076

顔のほとんどを占める大きな目
は、前と後ろをほとんどぜんほうい
全方位を
同時に見ることができます。

HTo084

人になると4枚の大きな羽で
上手に飛ぶ。

RTo091

水の中で生活する幼虫は、
肉食で、ヤゴといます。

QTo101